

分室特別展

デビュー30周年記念

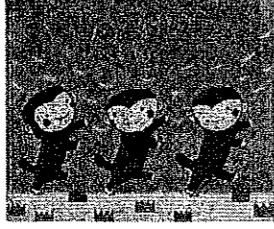
いとうひろし展—みつけよう、わくわくのタネ

7月16日(日)~10月15日(日)



『ルラルさんのにわ』

(ポプラ社 2001年) 部分



『おさるのおいかけっこ』

(講談社 2007年) 表紙

現在、私たちのまわりには有り余るほどの情報があり、便利で楽しい道具や機器が発達し、じっとしているだけでも暇のない時間を過ごせてしまいますが、そうした時間をふと空しく思ったり、なにか物足りなく感じてしまったりするときはないでしょうか。めまぐるしく過ぎ行く日々のなかで、一息ついて考えてみることで、自分の力で想像してみることが、確かな「わくわく」を見つげられるということ、いとうさんの絵本はそっと語りかけてくれています。

展示会では、観覧者のみなさんにたくさんの「わくわく」のタネを見つけていただければと思っております。よく見て、よく聞いて、そして想像してみると、おもしろいことは身近に転がっているものです。いとうさんの絵本の世界で、そしてみなさんそれぞれの暮らしのなかで、「わくわく」のタネを見つけて育ててみてはいかがでしょうか。

今年度の夏は、人気絵本作家・いとうひろしさんの展示会を開催します。いとうさんは『みんながおしゃべりはじめろ』(初版：童心社1987年)絵本館2006年(でデビューし、今年で30周年を迎える絵本作家です。小さな島に住むおさるのおはなし「おさる」シリーズや、独特のポリシーをもつ偏屈なおじさん「ルラルさん」シリーズなどの代表作があります。

いとうさんは1967年に生まれ、半年後に練馬区に転居、その後ずっと練馬区にお住まいになられています。小さいころは石神井公園や三宝寺池にもよくあそびに来られたそうで、区内にはたくさんの思い出があるようです。

いとうさんの作品には独特のユーモアがあり、そして空想の楽しさがあふれ、多くの子どもたちに親しまれています。日常のなかにひそむ小さなおもしろさ、楽しさの発見を大切に創作姿勢はデビュー時から今も変わらず、いとうさんの絵本を読むと、いつもと変わらない日々、新たな光を射し込んでくれるように感じられます。



『おさるのおいかけっこ』(講談社 2007年) 部分

練馬区独立70周年記念事業  
ねりま文化ウィーク  
～文化のちからで、みどりの風と～

4つの施設を巡り、音楽・舞台芸術・歴史・文学・美術を楽しむ2週間！スタンプラリーも開催します。[期間] 7月22日(土)～8月5日(土) [会場] 練馬文化センター、石神井公園ふるさと文化館・分室、練馬区立美術館ほか

ねりま文化ウィーク

8月 イベント情報

日付	時間	内容	講師等	会場	対象・定員	費用	申込
7/8(土)	14:00~14:45	生きて、食べて、書いた。作家と食 展示解説 担当学芸員による分室企画展の解説です。 解説：当室学芸員		石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも なし	無料	なし
7/22(土)	12:00~13:00	練馬区独立70周年記念事業 ねりま文化ウィーク事業 蓄音器コンサート 当館収蔵品の蓄音器によるSPレコードコンサートです。歌謡曲と戦後のジャズ・ポップス、美空ひばり「リンゴ園の少女」などをお楽しみいただきます。 解説：当室オーディオ担当職員		石神井公園の風文化公園管理棟内 多目的室	どなたでも 100名	無料	なし
7/23(日)	14:00~14:20	サポーターによるギャラリートーク 野村万作(狂言師)の解説です。 解説：石川歌子(分室サポーター)		石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも 20名	無料	なし
7/23(日)	14:20~14:50	サポーターによるギャラリートーク 高橋留美子(漫画家)の解説です。 解説：葛城明彦(分室サポーター)		石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも 20名	無料	なし
7/29(土)	10:00~14:30	デビュー30周年記念 いとうひろし展—みつけよう、わくわくのタネ ワークシヨップ「びりびり新聞紙で変身しよう！」 たくさんの新聞紙をびりびり破き、体につけて変身してあそびます。 講師：いとうひろし(絵本作家)		石神井公園の風文化公園管理棟内 和室	未就学児と 保護者・ 40名 (1組3名まで)	無料 ※持ち物： 飲み物・ お弁当	7/13(木) 〆切 ★
7/30(日)	10:00~16:40 ※3ページ参照	練馬区独立70周年記念事業 ねりま文化ウィーク事業 一日中！たっぷりおはなし会 絵本のおみかせ・小説の朗読等小さなお子様から大人まで楽しめるプログラムを行います。 読み手：練馬区立南田中国語館司書・ねりまおはなしの会・ねりま朗読の会		石神井公園の風文化公園管理棟内 和室	各回により 異なる・ 各回30名	無料	なし
8/5(土)	14:00~14:30	デビュー30周年記念 いとうひろし展—みつけよう、わくわくのタネ 展示解説 担当学芸員による分室特別展の解説です。 解説：当室学芸員		石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも なし	無料	なし
8/19(土)	10:00~14:30	デビュー30周年記念 いとうひろし展—みつけよう、わくわくのタネ ワークシヨップ「クモの巣はってクモのニードになるう！」 ビニール紐をクモの巣のようにはりめぐらせ、いとうひろしさんの絵本に出てくるクモのニードになります。 講師：いとうひろし(絵本作家)		石神井公園の風文化公園管理棟内 和室	小学1~3年生・ 25名	無料 ※持ち物： 飲み物・ お弁当	8/3(木) 〆切 ★
8/20(日)	14:00~14:20	サポーターによるギャラリートーク 藤沢周平(作家)と出身地の庄内地方の解説です。 解説：佐藤克広(分室サポーター)		石神井公園ふるさと文化館 分室	どなたでも 20名	無料	なし

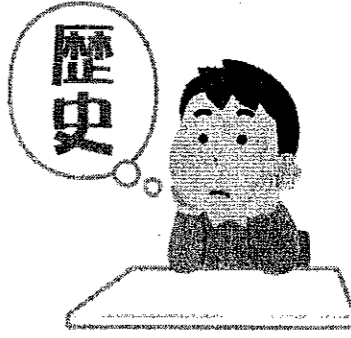
★の申込方法については石神井公園ふるさと文化館HPをご覧ください。  
(https://www.webun.org/furusato.html)

♪毎週火・水曜日、2階五階展示室にて専用出展メンテナンス実施中！ご自由に設置いただけます。

「近頃の風」

石神井公園ふるさと文化館では館と来館者をつなぐサポーターが活動しています。分室サポーターによる「ファミ」です。

サポーター 葛城明彦



「世間で語り伝えられている事も、実際の内容はつまらなかつたりするし、たいていはみな嘘なのである。人は、おかげさにものを言いがちな上、ましてや年月もたつていて、かけ離れた場所の話になると言いたい放題になっていくが、しかしそれも文章で記録されると、結局は事実という事で定まってしまう」(『徒然草』より・現代語訳・葛城明彦)

歴史の調査や研究を行っている時、私は時折この一文を思い出す。歴史上において「事実」もしくは「常識」とされているものの中には、おそらく今なお大量の「嘘」や誤りが含まれているに違いないからである。実は昨年、ある偶然から、かつて三宝寺池南側にあった「石

神井ホテル」の資料が発見された。そして、これにより今まで語られていた歴史には多くの誤りがあったことが判明した。しかしこの件にしても、該当資料も埋もれてしまっていたとしたら、おそらくはすべてがそのまま「事実」として定着してしまっていたに違いないのだ。

歴史を知ろうとする際には、ただ資料を読み、それを闇雲に信じ込むだけではいけない。たとえ面倒であっても、「これは本当なのか？」ともう一度疑ってみることが大切であろう。私は今、改めてそう思い始めている。

五味オーディオ通信♪

五味氏のオーディオで聴く  
レコードコンサートについて

ふるさと文化館分室では、7、8月を除き毎月五味氏の遺されたオーディオ・システムと、五味コレクションのLPレコードを使って音楽を楽しんでいただくレコードコンサートを毎月第4土曜日に開催しています。

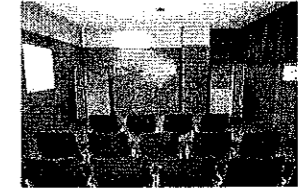
五味さんの遺されたクラシック音楽のLPレコードから、毎回テーマを決めて音楽を楽しんでいただいておりますが、5月のコンサートでは、五味コレクションのオープンリール・テープを使用していたコンサートでした。

この日のコンサートでは、今回初めてポピュラー音楽を聴いていただきました。

コンサート後のアンケートでは、「初めてテープのコレクションを聴けて、幸運だった」「ポピュラー音楽も楽しい、大へん感動した」「今度は、ジャズも聴かせてほしい」などの声が寄せられました。

今後のコンサートでは、テープのコンディションも確認しながら、ジャズのテープも楽しんでいただければと考えています。

コンサートの申し込みは往復はがき、または、ふるさと文化館のホームページの申込フォームで受け付けをいたします。多くの皆様のお申し込みをお待ち申し上げます。

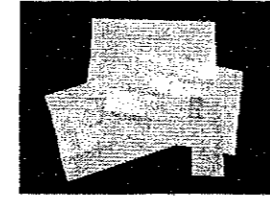


当室オーディオルーム

次回・展覧会

《作家の手紙》

平成 29 年 10 月 21 日(土)～  
平成 30 年 2 月 3 日(土)  
当室所蔵品の中から、練馬区ゆかりの作家たちによって書かれた手紙や、宛てられた手紙をご紹介します。



五味康祐書簡 (野澤千鶴子あて) 1948 年

今月の作品

『少年の名はジルベール』

竹宮恵子・著 2016 年小学館



少女漫画家たちの「大泉サロン」をご存知でしょうか？少年漫画家たちの「トキワ荘」のようなアパートが、1970 年代の練馬区大泉地域にあり、「大泉サロン」と呼ばれました。その頃の日々を、『ファラオの墓』などで知られる竹宮恵子が書き綴ったもの。萩尾望都との同居生活を皮切りに、坂田靖子、花郁悠紀子ら多くの漫画家が集まりました。夢と現実と、模索と希望と。なかなか実態がわからなかった大泉サロン、ひたすら漫画に生きた彼女たちの姿が心に残ります。

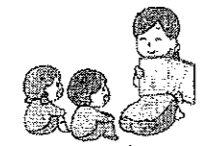
練馬区独立70周年記念事業  
ねりま文化ウィーク事業のお知らせ

平成 29 年 8 月 1 日、練馬区は独立 70 周年を迎えます。この記念の年にみんなで楽しみ、参加する催しがギョッと詰まった「ねりま文化ウィーク」を開催します。分室では、期間中左記イベントを開催します！

●一日中！たっぷりおはなし会

絵本のよみかせ・小説の朗読等小さなお子様から大人まで楽しめるプログラムで行います。

- 日時：7/30(日) ○申込・費用：不要
- 場所：石神井松の風文化公園管理棟内 2階和室
- 時間(対象)：
  - 10:00～10:30 (赤ちゃん)
  - 11:00～11:30 (幼児)
  - 13:00～14:30 (小学生)
  - 15:00～15:30 (大人朗読会)
  - 16:00～16:40 (朗読劇)



●蓄音器コンサート

当館収蔵品の蓄音器による SP レコードコンサートです。歌謡曲と戦後のジャズ・ポップスなどをお楽しみいただきます。

- 日時：7/22(土)
- 時間：12:00～13:00 開場 11:30
- 申込・費用：不要
- 場所：石神井松の風文化公園管理棟内 2階多目的室



【発行・お問い合わせ】

石神井公園ふるさと文化館分室(公益財団法人練馬区文化振興協会) ☎03-5372-2572/Fax050-3352-2983  
〒177-0045 練馬区石神井台 1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内  
休室日：毎週月曜日(月曜が祝休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休室日

【アクセス】

最寄駅：石神井公園駅  
西武池袋線(東京メトロ有楽町線、副都心線直通あり)  
・石神井公園駅西口から徒歩約 15 分  
・石神井公園駅北口から西武バス「吉祥寺駅」行き乗車、「石神井郵便局」下車約 1 分

